

統計学基礎 受講上の注意 (2014 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目は統計学のもっとも基礎的な部分を学ぶ科目です。ある集団のデータについて、数値やグラフでその特徴を記述する、記述統計の手法を中心に学びます。

- 講義形態：講義 + 紙と鉛筆による演習 + PC による演習 の形式をとります。PowerPoint を用いた説明と、その内容を定着させるための練習問題をおこないます。何回かごとに、Excel を用いた演習をおこないますので、その時はノート PC を持参してください。

あまり難しい内容は扱いませんが、よく手を動かしてもらいます。

- 出欠：講義開始時にカードで出席をとります。また、遅刻者には講義終了時に別のカードを配ります。講義回数の 3 分の 2 以上の出席がない者は、期末試験を受験できません。出席は成績に若干加点・減点しますが、詳しくは下の「成績評価について」の項で説明します。
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。練習問題や Excel の演習の際は、隣の人と相談しながらおこなうことはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

基本的には、講義の中で何回か出される課題(合計 40 点満点)と期末試験(60 点満点)の合計で評価します。それ以外に、webclass にある練習問題の自習状況など、平常点を評価したボーナス点をだすことがあります。

出席点は次のような方式で算出し、加減します。

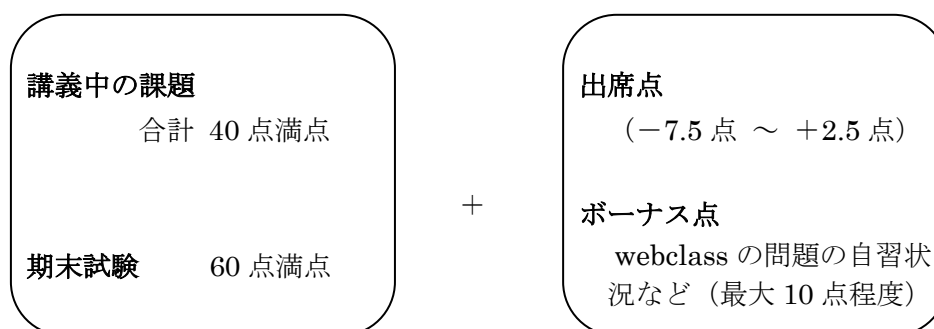
$$\text{出席点} = (\text{通常出席回数} \times 1 + \text{遅刻回数} \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2}$$

(例) 26 回通常出席し、2 回遅刻した学生がいた。出席点 = $(26 \times 1 + 2 \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2} = 1$

(例) 21 回通常出席し、3 回遅刻した学生がいた。出席点 = $(21 \times 1 + 3 \times 0.5 - 25) \times \frac{1}{2} = -1.25$

基本点(計 100 点満点)

加点・減点



※ ただし、出席回数が 20 回に満たない者には、単位を与えません。

以上の合計点が下のいずれかによって成績評価します。

優 80 点以上 良 70 点~79 点 可 60 点~69 点 不可 59 点以下

使用テキスト

随時 PowerPoint スライドのハンドアウトを配布します。スライドは講義用 HP にもおいてあるので、ハンドアウトの文字が小さい人は、ノート PC の画面上で確認したり、大きいサイズでプリントアウトするなりして、対応してください。

講義とほぼ同等の内容を扱う以下の参考書をあげておきます。欠席の内容を補ったり、講義中の説明で十分理解ができなかった場合などに使用してください。(この科目で扱う内容は、これらの参考書の一部であり、2年次の「統計学」まででほぼすべてをカバーします。)

- 稲葉 由之 (2012)『プレステップ 統計学 I』弘文堂 1890 円
- 西郷 浩 (2012)『初級 統計分析』新世社 1890 円
- 松原 望 (2009)『わかりやすい統計学』(第2版) 丸善 1890 円
- D.ロウントリー(加納 悟 訳)(2001)『新・涙なしの統計学』新世社 1680 円
- 佐竹 元一郎・野口 和也 (1994)『統計理論入門』中央経済社 3059 円
- 森田 優三・久次 智雄 (1993)『新統計概論 改訂版』日本評論社 3570 円
- 高橋 信(2004)『マンガでわかる統計学』オーム社 2100 円

(マンガなので十分な説明がされていない面がありますが、統計学の大まかなイメージをとらえるには良いかもしれません。)

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

講義時間中以外に質問がある場合には、**514 研究室**を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは月曜日の3限です。

また、e-mailでの質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページと webclass

事務連絡、出席状況、課題提出状況、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。

webclass には、さまざまな練習問題を掲載していきます。練習問題としては、講義内容の復習に役立つ基本的な問題から、統計検定や公務員試験(数的処理)などの各種資格検定試験対策に役立つような応用的な問題までとりそろえていきます。これらの自習状況は、平常点として加点します。

統計検定について

この講義の内容をきちんと理解すれば、統計検定 3 級に合格する実力がつきます。是非受験してください。統計検定については、

<http://www.toukei-kentei.jp/>

を参照してください。(講義用 HP からリンクをはっています。)